

# 大玉村都市計画マスタープラン の改定について

R6年3月26日

# 改定経緯

- 10年、20年後の大玉村の発展と自立を考えるとき、スマートICを中心としたまちづくりの重要性がより高まっている。
- 都市計画マスタープランにおいても、計画全般にわたり、スマートICを中心としたまちづくりを明記していく。

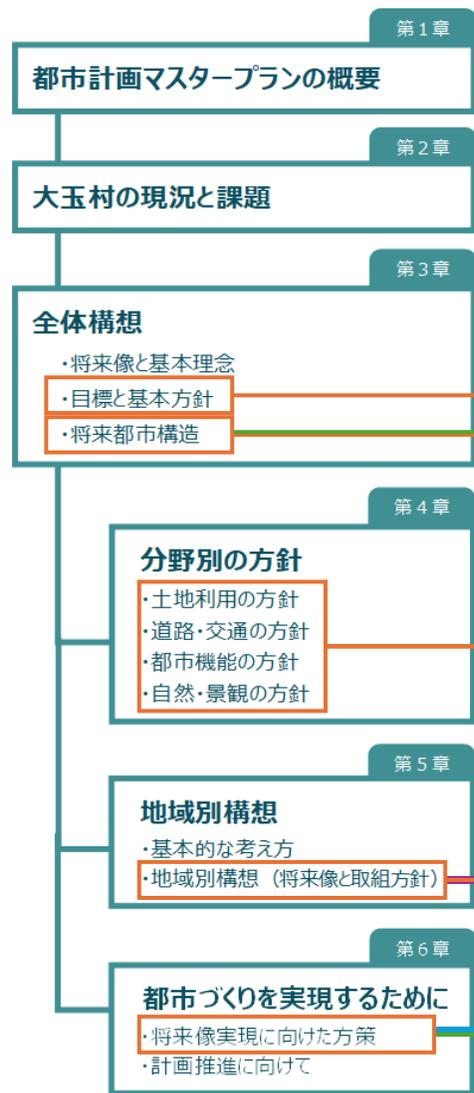
# 前回検討委員会からの変更点

新たな工業団地と第1工業団地を一体とした工業集積拠点を形成する

- 新たな工業団地は、スマートICから近接した物流拠点として、村内への企業誘致を有利に進められる環境にある
- 立地適正化計画で位置づける居住誘導区域に近接した雇用の場となることから、居住誘導施策としても有効
- 既存の第1工業団地と一体となった工業集積拠点として、企業誘致を図っていく



# 改定内容の整理



## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

[レベル：拠点／名称：大玉ゲートウェイ（工業集積拠点）※第1工業団地と一体で表現]

- 改定箇所：3-2目標と基本方針（2）都市づくりの基本方針 | 目標の柱 1 P 4
- 改定箇所：3-3将来都市構造（2）将来都市構造 | 将来都市構造図 P 5～6
- 改定箇所：4-1土地利用の方針 | 土地利用の方針図 P 7～8
- 改定箇所：4-2道路・交通の方針 | 道路・交通の方針図 P 9
- 改定箇所：4-3都市機能の方針 | 都市機能の方針図 P 10～11
- 改定箇所：4-4自然・景観の方針（4）景観 | 保全・創造する景観の例 P 12
- 改定箇所：5-2地域別構想（1）（2） | 各ゾーンの構想図 P 13～15

## ② 国道4号沿道だけではなくスマートIC周辺一帯の活性化を目指すことを明示

[名称変更：国道4号沿道ゾーン⇒産業集積ゾーン]

- 改定箇所：第5章地域別構想の全体について、本文・図中における国道4号沿道ゾーンの名称を修正 P 16

## ③ スマートICの必要性やまちづくりとの関係を本文に追記

- 改定箇所：3-3将来都市構造（2）将来都市構造 | 将来都市構造図 P 17～18
- 改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策（1）国道4号沿道ゾーンへの企業進出の誘導 P 19
- 改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策（3）スマートICの整備に向けた検討 P 20

## ④ 実現化方策のひとつとして、新たな工業団地の造成範囲を具体的に明示

- 改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策 | 将来像の実現に向けた方策図 P 21
- 改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策 | 将来の実現に向けた整備構想図（新規追加） P 22

# ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

## 改定内容の整理

改定箇所：3-2目標と基本方針（2）都市づくりの基本方針 | 目標の柱1

### 現行計画（65頁）

#### 目標の柱1 地域経済が活性化するむら (経済)

##### 基本方針① 国道4号沿道がにぎわうむらづくり

住民の幸せな暮らしを守るための基盤となる産業の振興・発展に向け、国道4号沿道土地の優位性を活かし、商工業の産業集積を図ります。企業誘致にあたっては、農林関係部局との調整や手続き支援、オーダーメイド方式等による工業団地の造成など企業が進出しやすい環境を整えます。

また、地域経済を支える交通ネットワークの形成を図るため、企業の事業展開や物流強化に有効なスマートICの整備に向けた検討を進めます。

##### 基本方針② 力強い農林業を創生するむらづくり

手入れの行き届かない農地や山林を減らし、適正に保全・管理していくことを基本にし、高品質な農林産物の安定生産とともに、6次産業化や高付加価値化を積極的に図り、力強い農林業の創生を目指します。

大玉村の基幹産業である農業をより発展させるため、農業振興公社の主導的な事業展開により、農業に好循環を生み出します。

### 今回の改定案：文言整理

#### 目標の柱1 地域経済が活性化するむら (経済)

##### 基本方針① 大玉村の玄関口がにぎわうむらづくり

住民の幸せな暮らしを守るための基盤となる産業の振興・発展に向け、東北縦貫自動車道と国道4号の立地を活かし、商工業の産業集積を図ります。

企業の事業展開や物流強化に有効なスマートICの整備に向けた検討を進めるとともに、農林関係部局との調整や手続き支援、オーダーメイド方式等による工業団地の造成など企業が進出しやすい環境を整えることで、地域経済に好循環を生み出します。

##### 基本方針② 力強い農林業を創生するむらづくり

手入れの行き届かない農地や山林を減らし、適正に保全・管理していくことを基本にし、高品質な農林産物の安定生産とともに、6次産業化や高付加価値化を積極的に図り、力強い農林業の創生を目指します。

大玉村の基幹産業である農業をより発展させるため、農業振興公社の主導的な事業展開により、農業に好循環を生み出します。

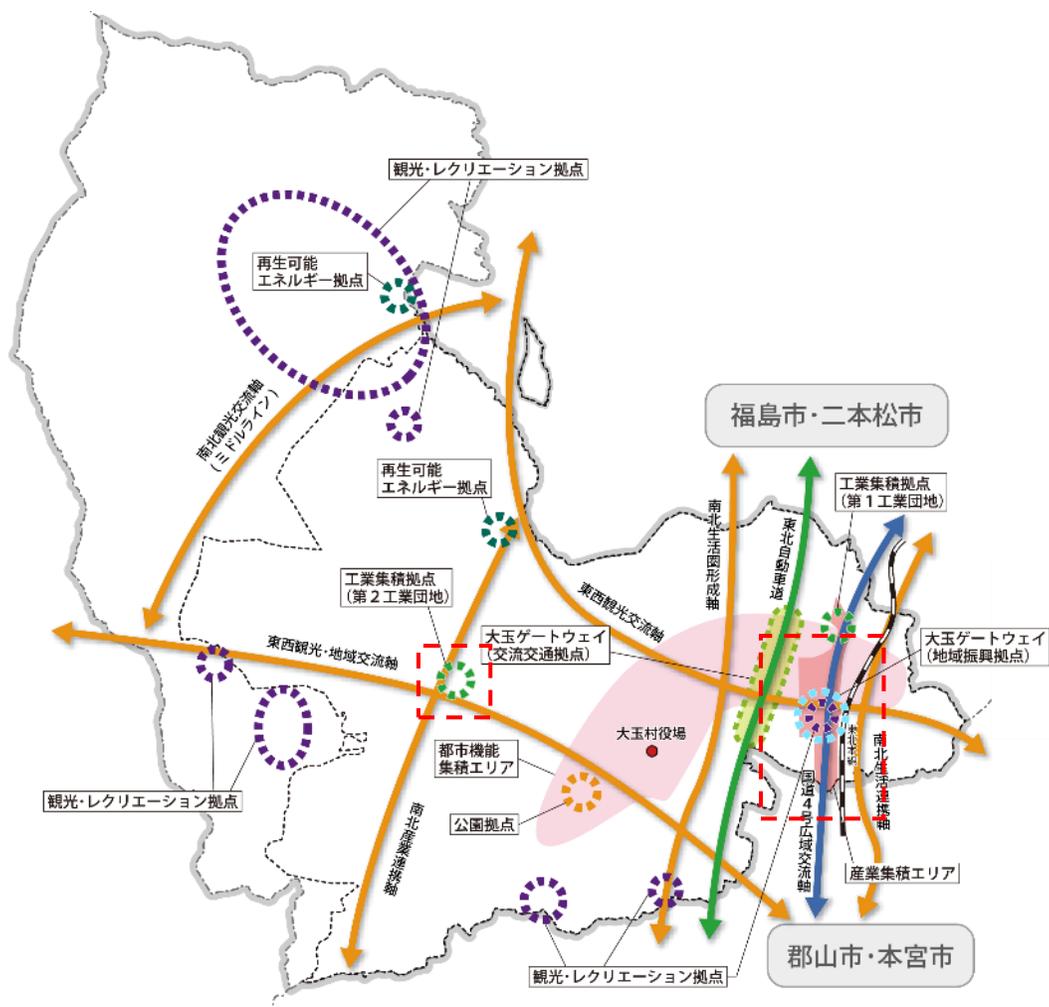
# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

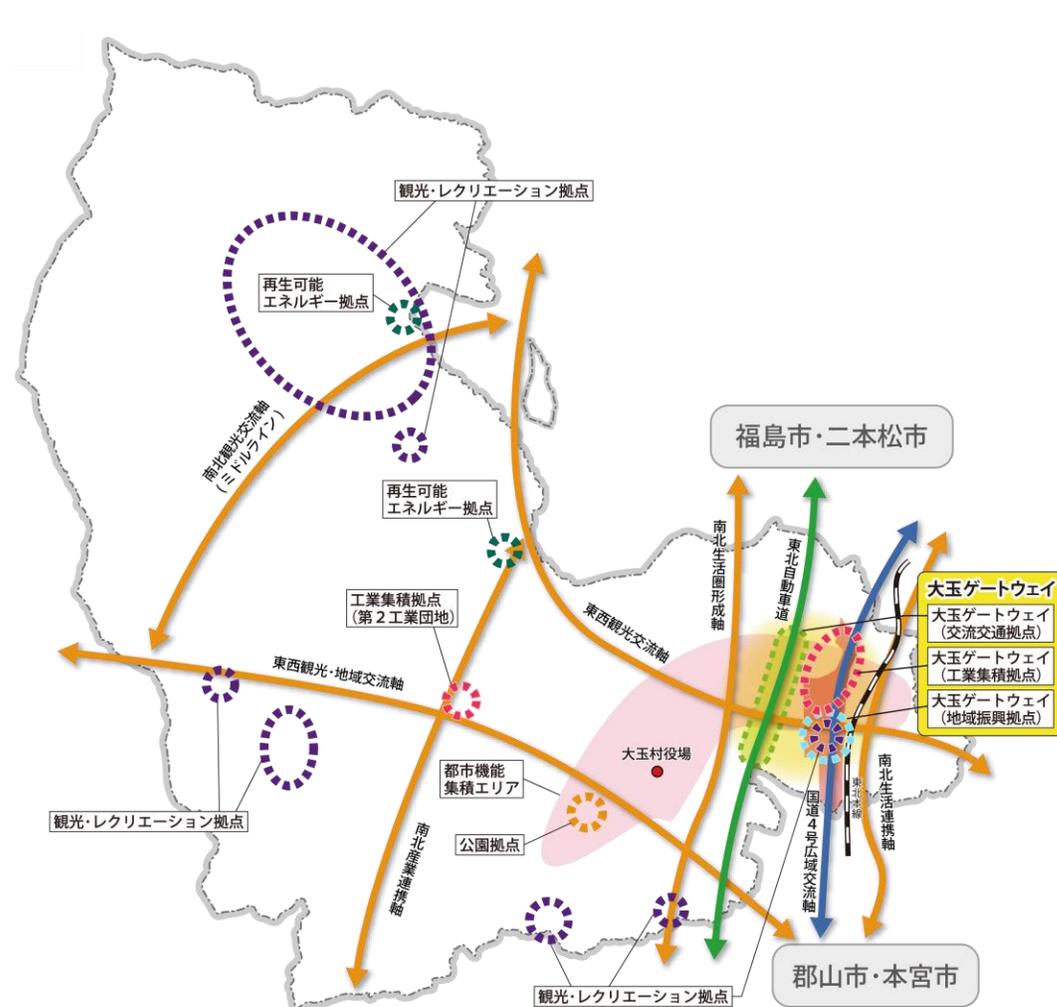
改定箇所：3-3将来都市構造（2）将来都市構造

| 将来都市構造図

現行計画（69頁）



今回の改定案：拠点追加



# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：3-3将来都市構造（2）将来都市構造

| 将来都市構造図

### 現行計画（70頁）

都市構造の骨格	配置方針	都市づくりの基本方針／目標の柱							
		1 経済	2 自然・景観	3 人口	4 観光	5 生活	6 安全・安心	7 環境・デジタル	8 地域・コミュニティ
都市機能集積エリア	社会基盤の充実、都市機能の集積を推進し、新たな住宅開発等を促進するエリア	●		●		●	●		●
産業集積エリア	地域の大動脈としての国道4号の特性を活かし、大玉村の持続的な発展を促進するエリア	●	●		●				
観光・レクリエーション拠点	守るべき自然との調和を図りながら、既存施設の有効活用並びに、新たな施設整備を促進する地区	●	●		●				
工業集積拠点	既存の工業団地の機能向上を図る地区	●							
大玉ゲートウェイ（地域振興拠点）	広域化する日常生活圏への移動性を確保する広域交流軸との連携のもとに、エントランス機能の集積を図る地区 地域振興施設の整備を推進する地区	●		●	●	●			●
大玉ゲートウェイ（交流交通拠点）	広域化する日常生活圏への移動性を確保する広域交流軸との連携のもとに、エントランス機能の集積を図る地区 スマートICの整備を検討する地区	●		●	●	●			
公園拠点	水辺空間を活かし、花と緑に囲まれた憩いの場を形成する地区		●	●		●			
再生可能エネルギー拠点	再生可能エネルギーの推進と、学習の場としてのエネルギーパークの整備を検討する地区					●		●	

### 今回の改定案：拠点追加

都市構造の骨格	配置方針	都市づくりの基本方針／目標の柱							
		1 経済	2 自然・景観	3 人口	4 観光	5 生活	6 安全・安心	7 環境・デジタル	8 地域・コミュニティ
都市機能集積エリア	社会基盤の充実、都市機能の集積を推進し、新たな住宅開発等を促進するエリア	●		●		●	●		●
産業集積エリア	地域の大動脈としての東北縦貫自動車道と国道4号の特性を活かし、大玉村の持続的な発展を促進するエリア	●	●		●				
観光・レクリエーション拠点	守るべき自然との調和を図りながら、既存施設の有効活用並びに、新たな施設整備を促進する地区	●	●		●				
工業集積拠点	第2工業団地の機能向上を図る地区	●		●					
大玉ゲートウェイ	広域化する日常生活圏への移動性を確保する広域交流軸との連携のもとに、エントランス機能の集積を図るエリア								
工業集積拠点	第1工業団地及び新たな工業団地の造成を推進する地区	●		●					
地域振興拠点	地域振興施設の整備を推進する地区	●		●	●	●			●
交流交通拠点	スマートICの整備を検討する地区	●		●	●	●			
公園拠点	水辺空間を活かし、花と緑に囲まれた憩いの場を形成する地区		●	●		●			
再生可能エネルギー拠点	再生可能エネルギーの推進と、学習の場としてのエネルギーパークの整備を検討する地区					●		●	

# 改定内容の整理

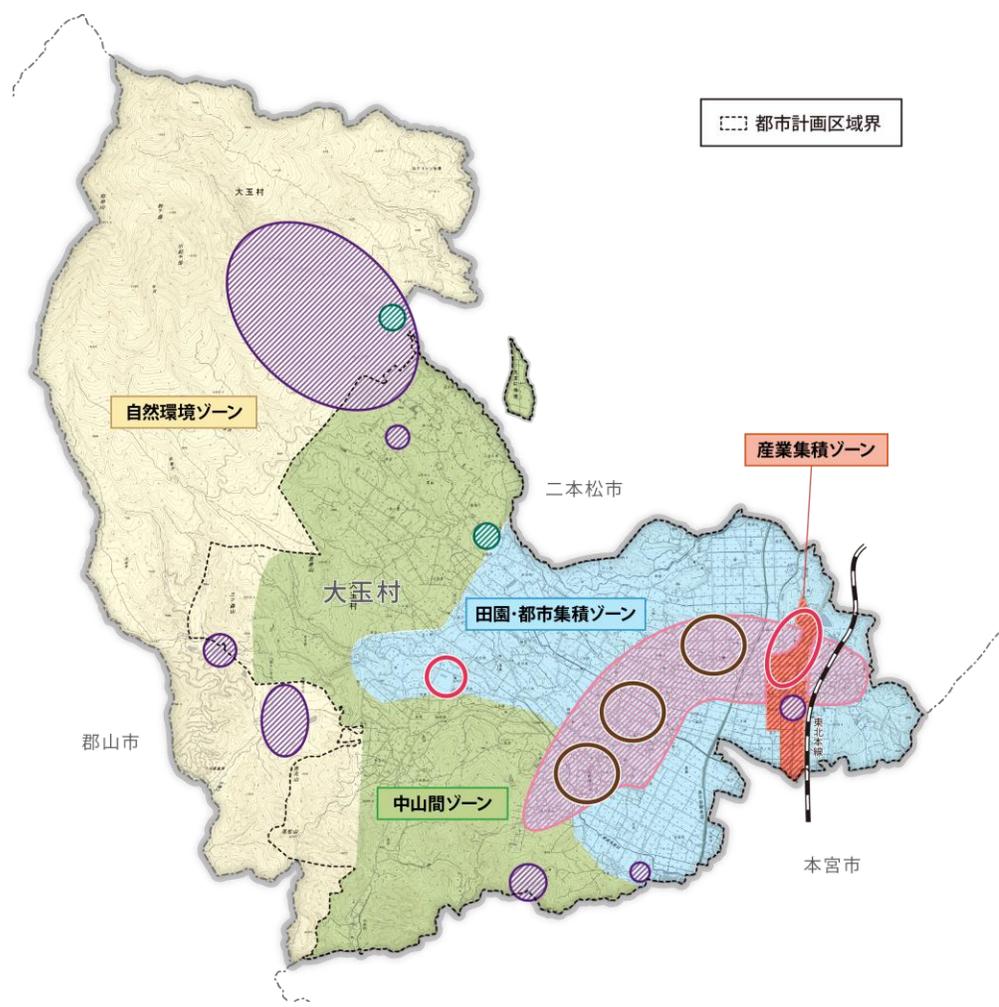
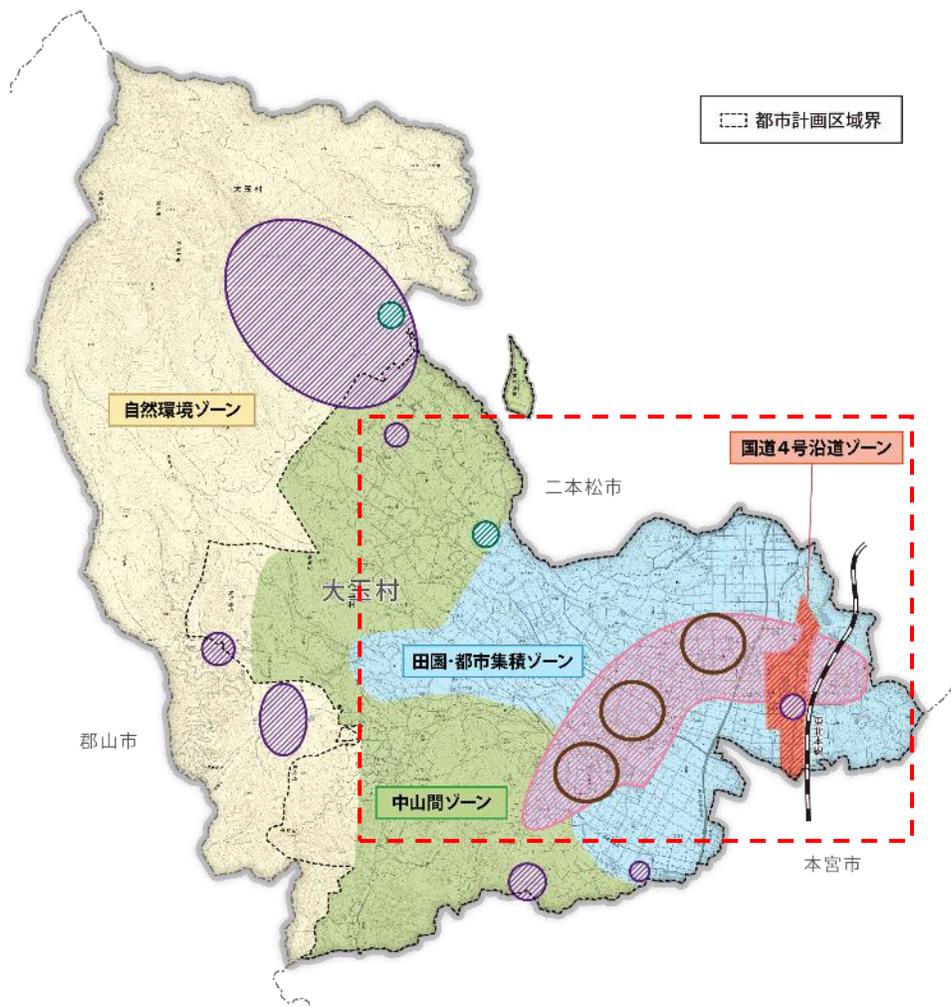
## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：4-1土地利用の方針

| 土地利用の方針図

現行計画（75頁）

今回の改定案：拠点追加



# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：4-1土地利用の方針

| 土地利用の方針図

### 現行計画（75頁）

エリア等	方針内容
 都市機能集積エリア	区画道路・下水道・公園等の社会基盤、福祉・文化・行政サービス等の都市機能の集積整備や居住の誘導を推進する。同時に、自然との共生をテーマとした河川環境の整備、景観等の保全・創造を進める。
 産業集積エリア	持続的な発展を支える優良企業の誘致を図る。特に、国道4号からの安達太良山の眺望に配慮した誘致を推進するとともに、交通の利便性を活かし、オーダーメイド方式等による新たな工業団地の造成など、企業が進出しやすい環境整備を検討し、商工業の振興を図る。
 観光・レクリエーション拠点	守るべき自然との調和を図りながら、既存施設を有効活用した検討を進める。また、あだたらの里直売所周辺に地域振興施設や観光農園の整備を図り、観光拠点を形成する。
 再生可能エネルギー拠点	小水力発電事業の振興と蓄電池システムの設置促進を図る。再生可能エネルギーの学習の場としてエネルギーパークの整備に向け検討する。
 宅地造成推進地区	都市機能集積エリア内において、近居や転入者の居住地区として、宅地開発条件の整備を進める。

### 今回の改定案：拠点追加

エリア等	方針内容
 都市機能集積エリア	区画道路・下水道・公園等の社会基盤、福祉・文化・行政サービス等の都市機能の集積整備や居住の誘導を推進する。同時に、自然との共生をテーマとした河川環境の整備、景観等の保全・創造を進める。
 産業集積エリア	持続的な発展を支える優良企業の誘致を図る。特に、国道4号からの安達太良山の眺望に配慮した誘致を推進するとともに、交通の利便性を活かし、オーダーメイド方式等による新たな工業団地の造成など、企業が進出しやすい環境整備を検討し、商工業の振興を図る。
 観光・レクリエーション拠点	守るべき自然との調和を図りながら、既存施設を有効活用した検討を進める。また、あだたらの里直売所周辺に地域振興施設や観光農園の整備を図り、観光拠点を形成する。
 再生可能エネルギー拠点	小水力発電事業の振興と蓄電池システムの設置促進を図る。再生可能エネルギーの学習の場としてエネルギーパークの整備に向け検討する。
 宅地造成推進地区	都市機能集積エリア内において、近居や転入者の居住地区として、宅地開発条件の整備を進める。
 大玉ゲートウェイ（工業集積拠点）	第1工業団地の機能向上及び、産業集積の基盤となる新たな工業団地を造成し企業誘致や雇用の創出を図る。
 工業集積拠点	第2工業団地の機能向上を図り、企業活動を支援する。

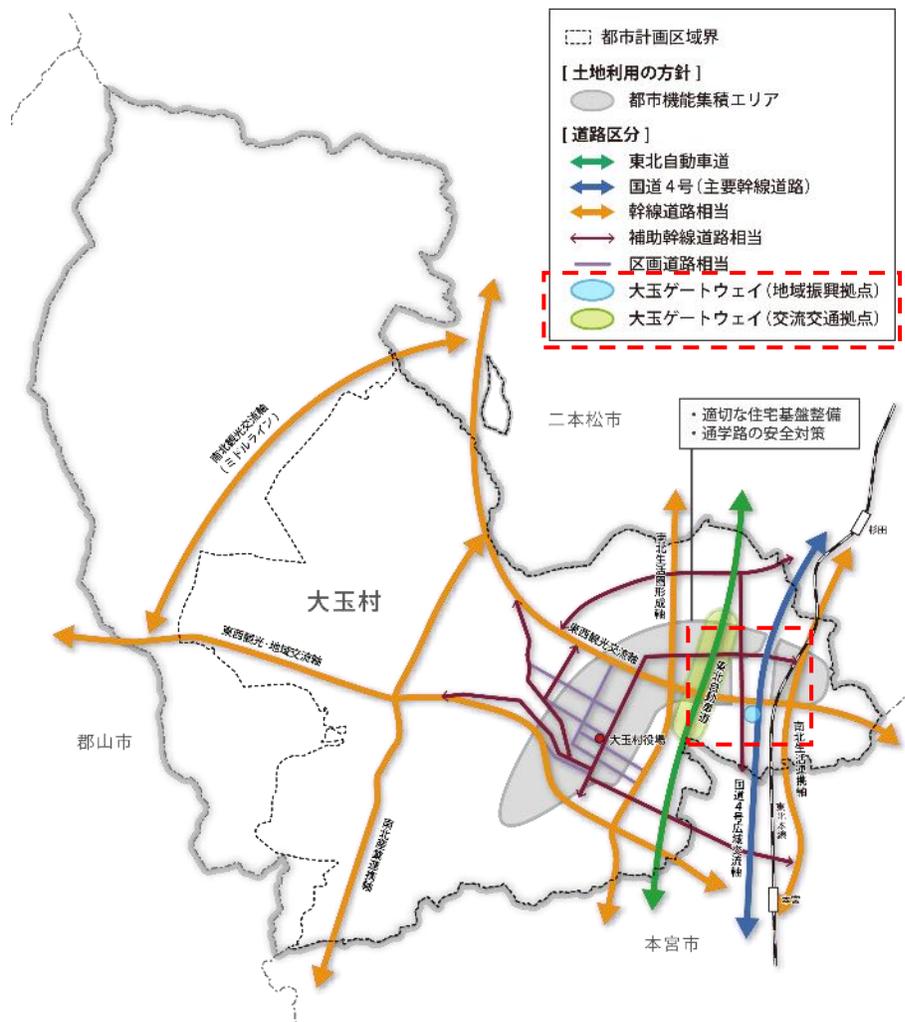
# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

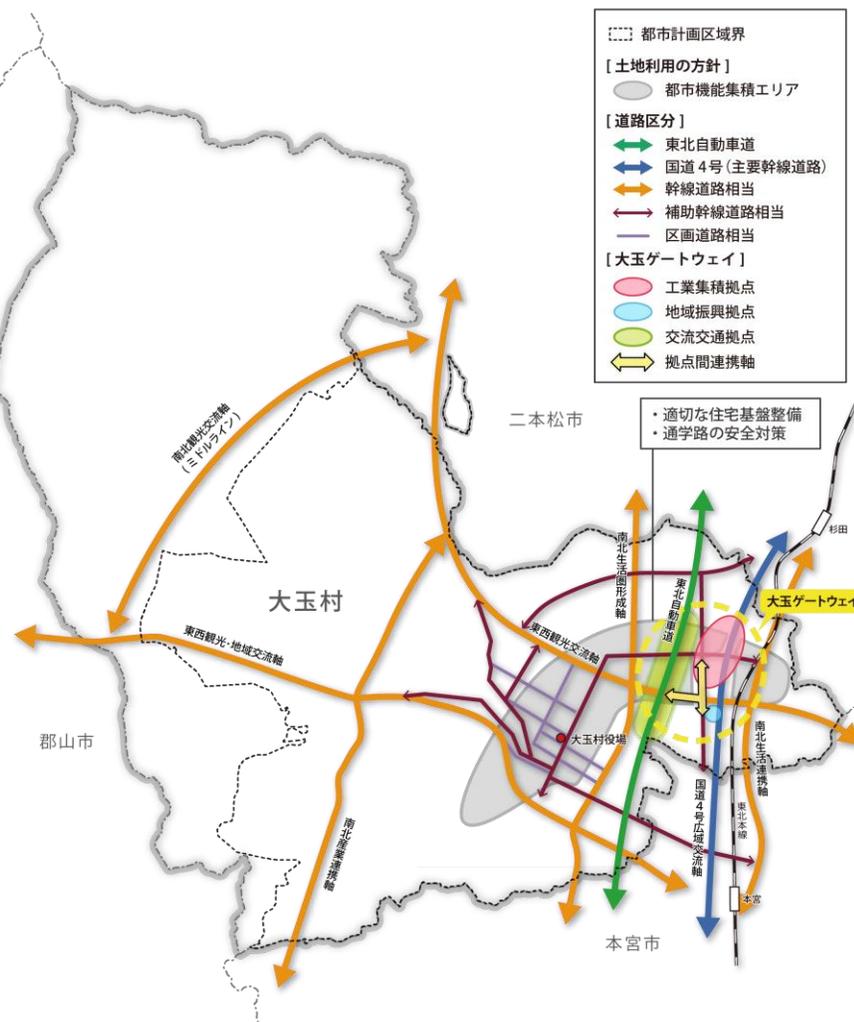
改定箇所：4-2道路・交通の方針

| 道路・交通の方針図

現行計画 (77頁)



今回の改定案：拠点及び連携軸の追加



# 改定内容の整理

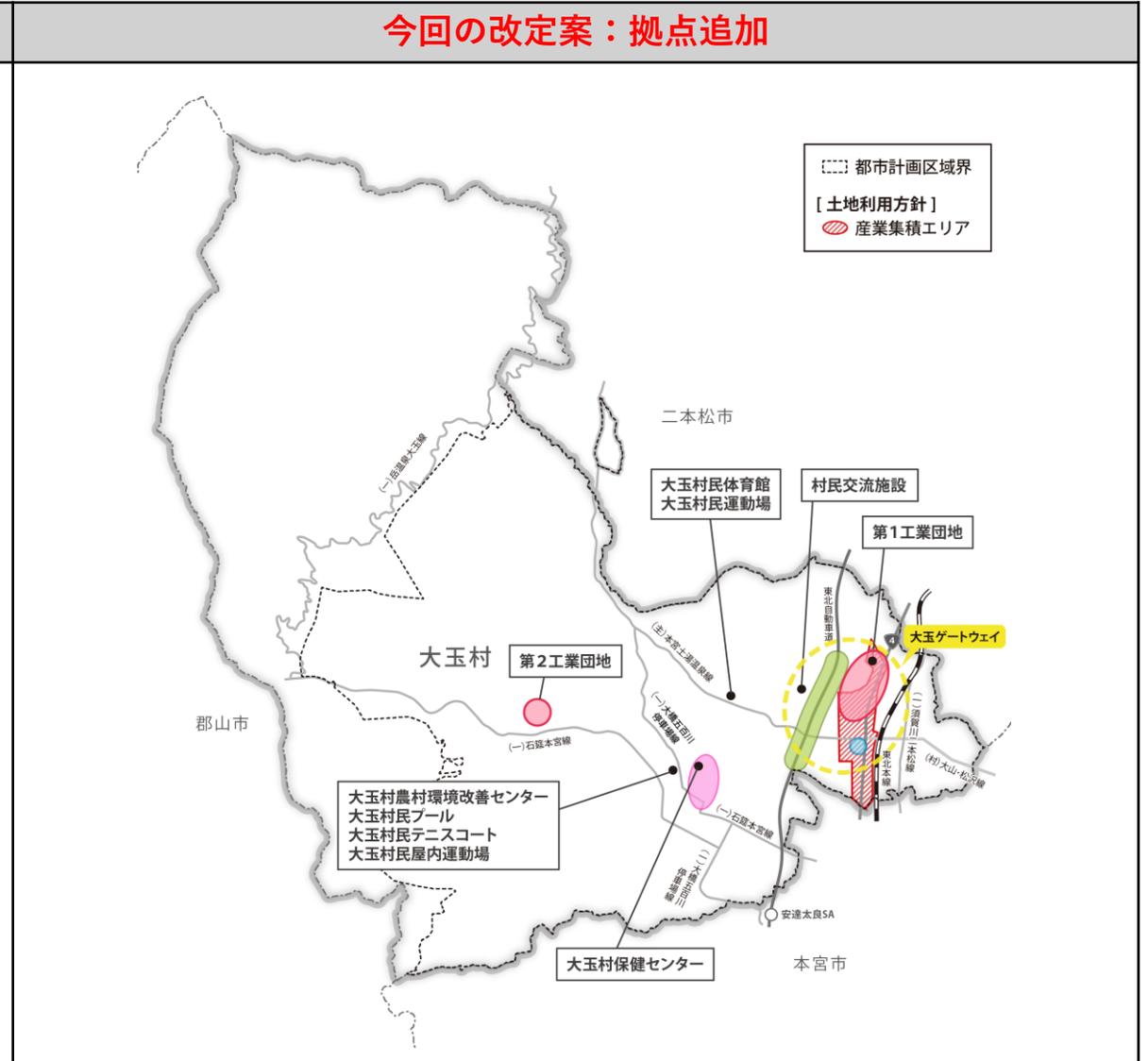
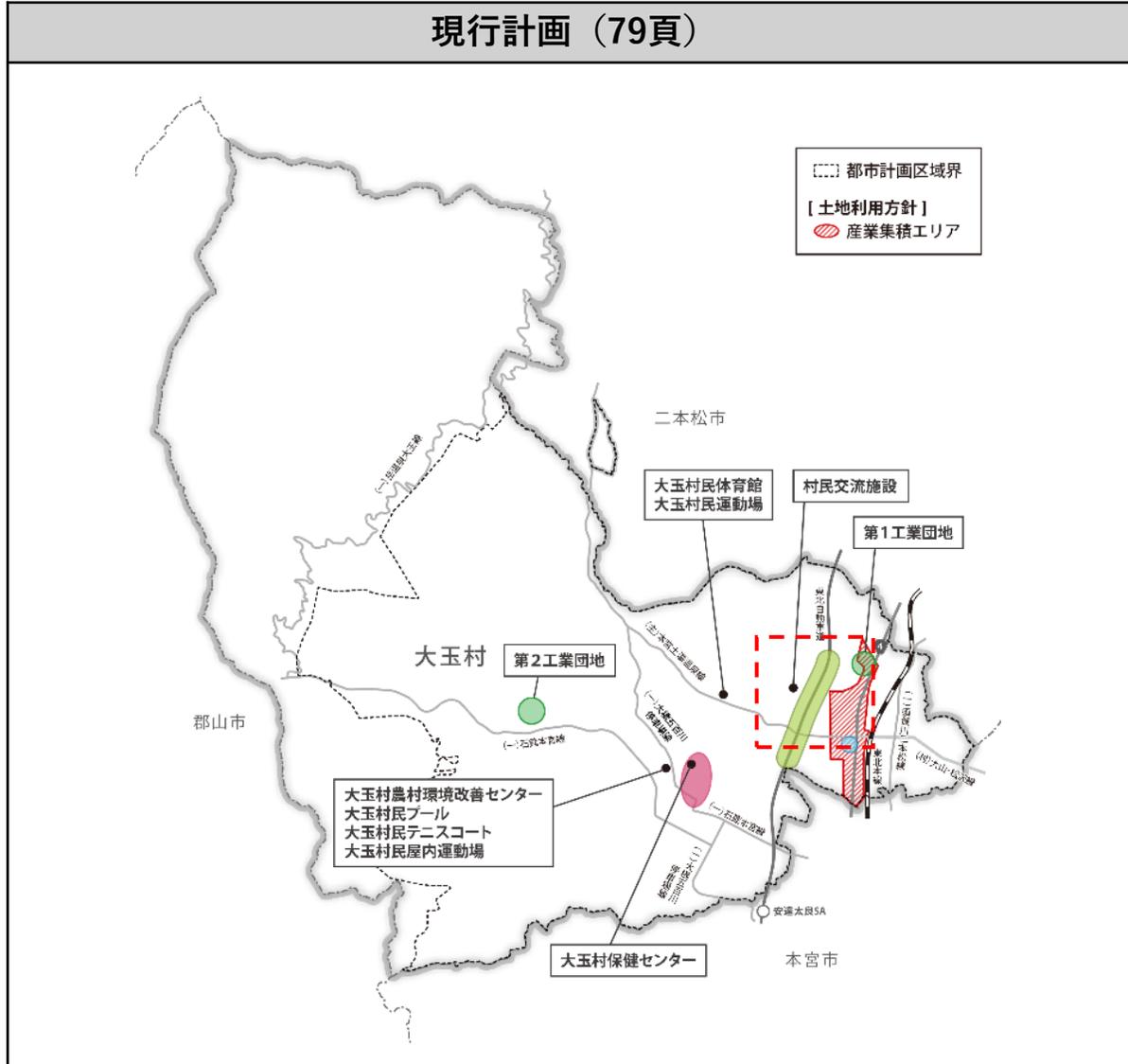
## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：4-3都市機能の方針

| 都市機能の方針図

現行計画（79頁）

今回の改定案：拠点追加



# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：4-3都市機能の方針

| 都市機能の方針図

### 現行計画（79頁）

拠点	方針内容
 中心拠点	役場を中心として、住民の生活に関わる各種行政サービス施設の集積、日常生活に必要な施設の集積を図り、大玉村の中心としての拠点性を高める。
 工業集積拠点	第1工業団地、第2工業団地における工業施設の適正な活用を図る。
 大玉ゲートウェイ (地域振興拠点)	あだたらの里直売所並びに大玉村ふれあい広場を活かした地域振興施設の整備検討を進め、人・モノが交流する拠点の形成を図る。
 大玉ゲートウェイ (交流交通拠点)	スマート IC の整備に向けた検討を進め、広域的な交流等を図る。

### 今回の改定案：拠点追加

拠点	方針内容
 中心拠点	役場を中心として、住民の生活に関わる各種行政サービス施設の集積、日常生活に必要な施設の集積を図り、大玉村の中心としての拠点性を高める。
 工業集積拠点	第2工業団地における工業施設の適正な活用を図る。
大玉ゲートウェイ	
 工業集積拠点	第1工業団地における工業施設の適正な活用と新たな工業団地の造成に向けた検討を進め、企業誘致や雇用の創出を図る。
 地域振興拠点	あだたらの里直売所並びに大玉村ふれあい広場を活かした地域振興施設の整備検討を進め、人・モノが交流する拠点の形成を図る。
 交流交通拠点	スマート IC の整備に向けた検討を進め、広域的な交流等を図る。

# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：4-4自然・景観の方針（4）景観

｜保全・創造する景観の例

現行計画（81頁）

### 幹線道路から田園と安達太良山を望む景観

■国道4号や田んぼ通りから安達太良山を見上げる景観

<取り組み例>

- ・大玉村ふるさと景観保護条例に基づく建築物や看板の高さ、色彩等の調整



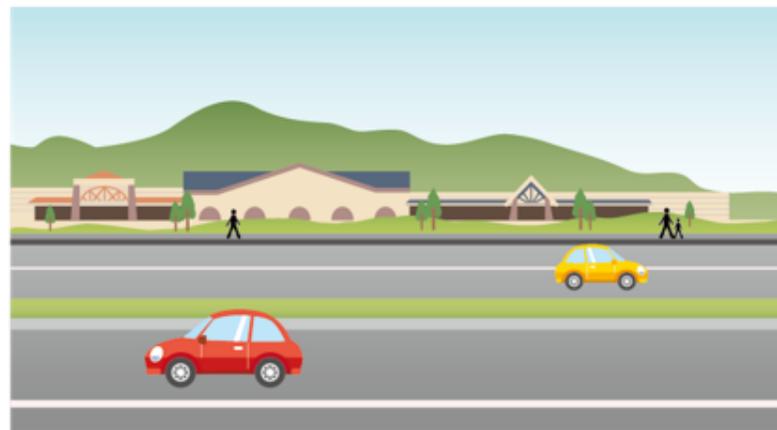
今回の改定案：大玉ゲートウェイの追記

### 幹線道路から田園と安達太良山を望む景観

■大玉ゲートウェイの各拠点や、国道4号、田んぼ通りなどから安達太良山を見上げる景観

<取り組み例>

- ・大玉村ふるさと景観保護条例に基づく建築物や看板の高さ、色彩等の調整

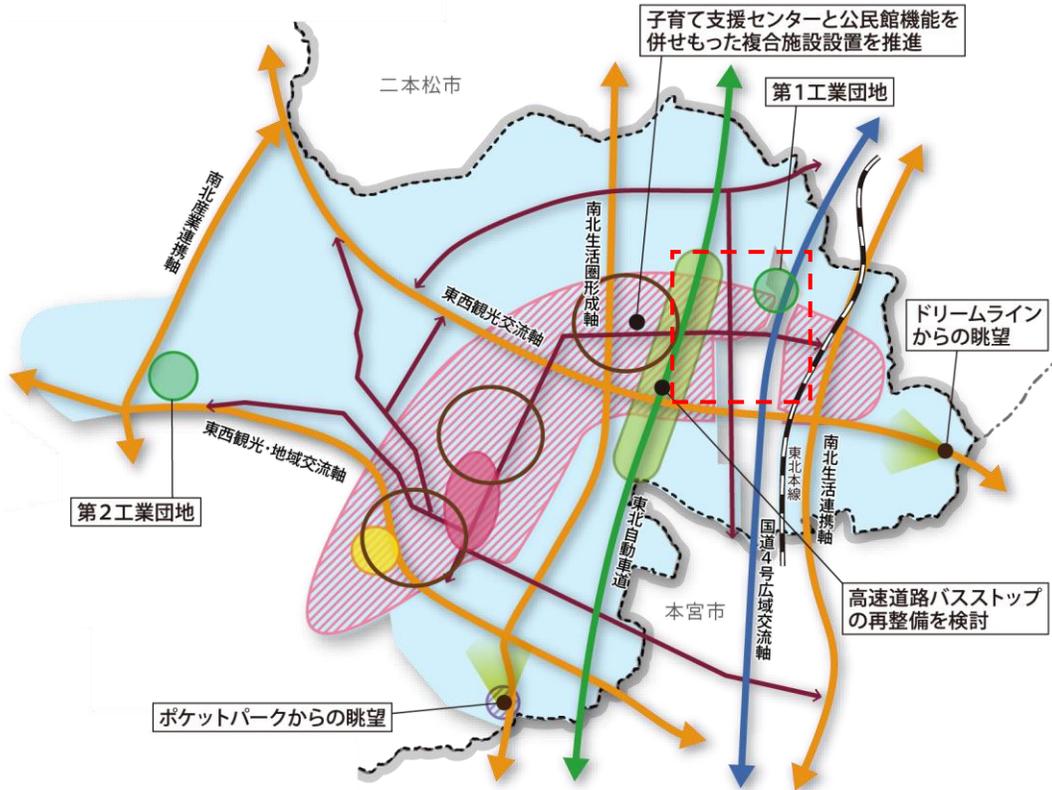


# 改定内容の整理

## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

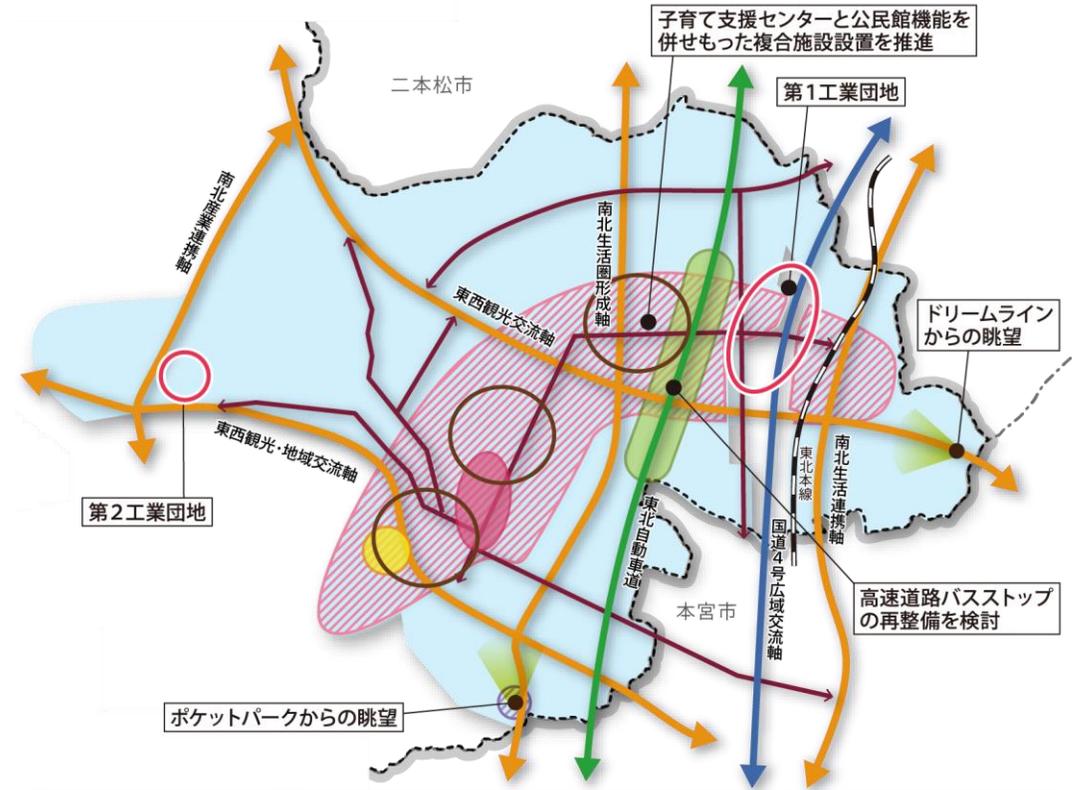
改定箇所：5-2地域別構想（1）田園・都市集積ゾーン | 田園・都市集積ゾーンの構想図

現行計画（86頁）



- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 〕 都市計画区域界</li> <li>〔 景観要素 〕</li> <li>● 眺望スポット</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 土地利用の方針 〕</li> <li>〰 都市機能集積エリア</li> <li>〰 観光・レクリエーション拠点</li> <li>○ 宅地造成推進地区</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 都市機能の方針 〕</li> <li>● 中心拠点</li> <li>● 工業集積拠点</li> <li>● 大玉ゲートウェイ(交流交通拠点)</li> <li>〔 自然・景観の方針 〕</li> <li>● 公園拠点</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 道路区分 〕</li> <li>↔ 東北自動車道</li> <li>↔ 国道4号(主要幹線道路)</li> <li>↔ 幹線道路相当</li> <li>↔ 補助幹線道路相当</li> </ul> |
|---|---|---|--|

今回の改定案：拠点追加



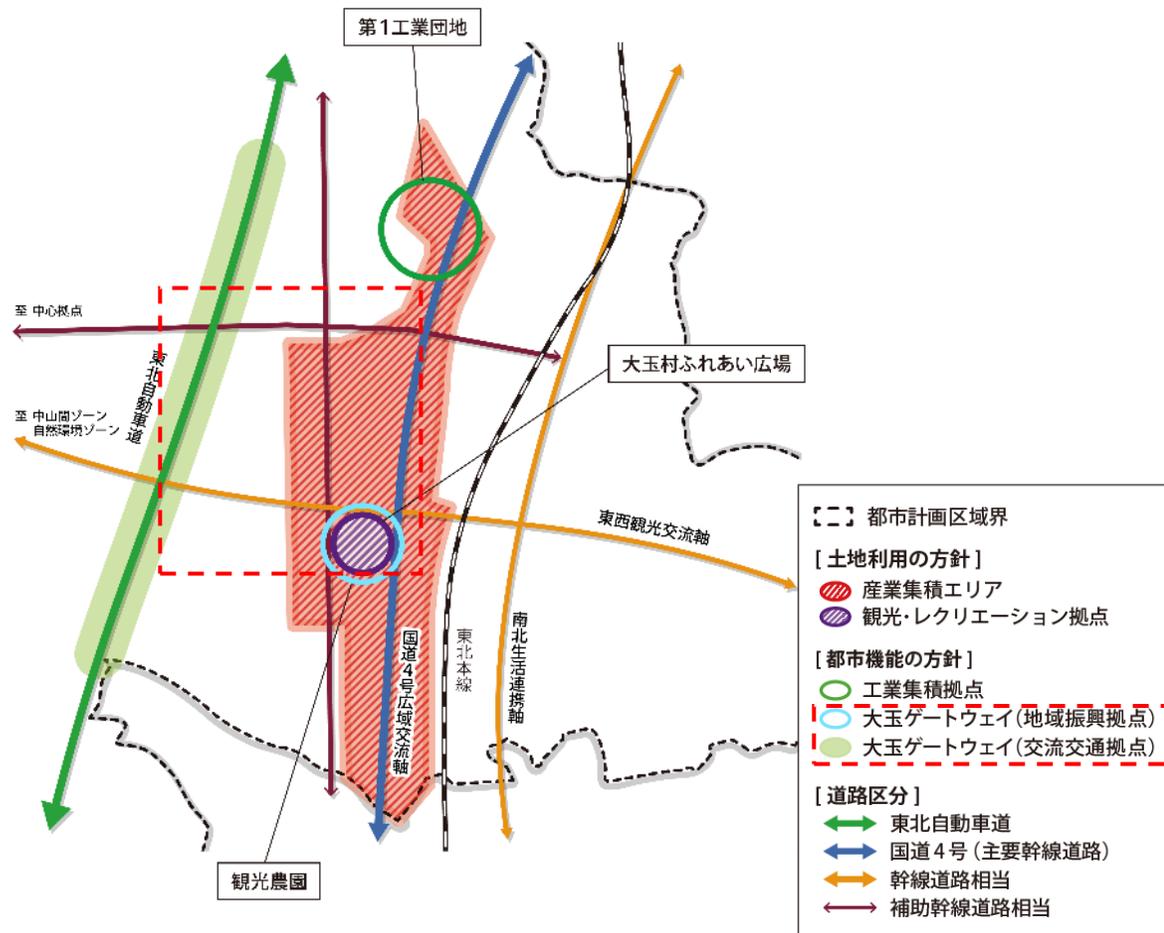
- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 〕 都市計画区域界</li> <li>〔 景観要素 〕</li> <li>● 眺望スポット</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 土地利用の方針 〕</li> <li>〰 都市機能集積エリア</li> <li>〰 観光・レクリエーション拠点</li> <li>○ 宅地造成推進地区</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 都市機能の方針 〕</li> <li>● 中心拠点</li> <li>● 工業集積拠点</li> <li>● 大玉ゲートウェイ(工業集積拠点)</li> <li>● 大玉ゲートウェイ(交流交通拠点)</li> <li>〔 自然・景観の方針 〕</li> <li>● 公園拠点</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 道路区分 〕</li> <li>↔ 東北自動車道</li> <li>↔ 国道4号(主要幹線道路)</li> <li>↔ 幹線道路相当</li> <li>↔ 補助幹線道路相当</li> </ul> |
|---|---|---|--|

# 改定内容の整理

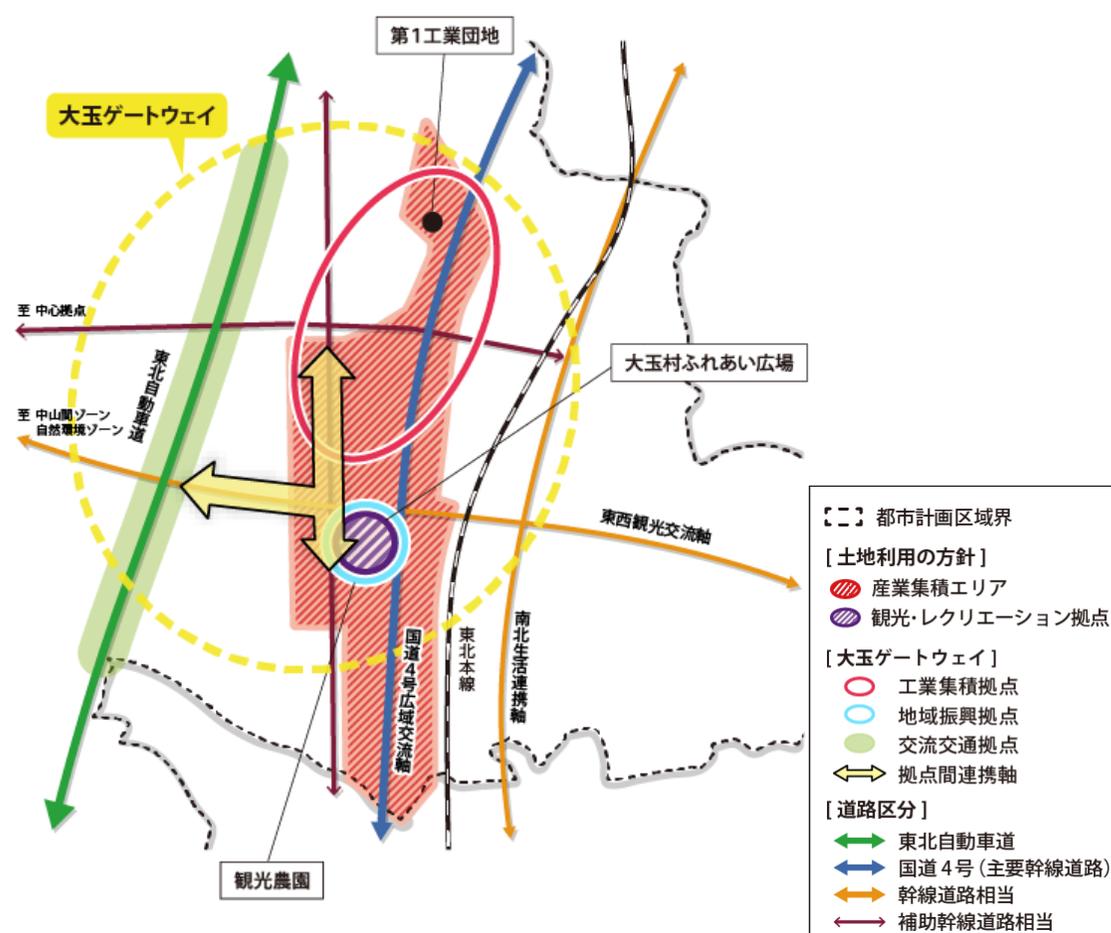
## ① 新たな工業団地を将来都市構造や関連する分野別方針の中に追記

改定箇所：5-2地域別構想（2）産業集積ゾーン | 産業集積ゾーンの構想図

現行計画（90頁）



今回の改定案：拠点追加



# 改定内容の整理 ② 国道4号沿道だけでなくスマートIC周辺一帯の活性化を目指すことを明示

[ゾーン名称変更：国道4号沿道ゾーン⇒産業集積ゾーン]

改定箇所：第5章地域別構想

該当頁	項目名	箇所・図表名
85	5-1 基本的な考え方	地域別構想のゾーン区分
89	5-2 地域別構想 (2) 国道4号沿道ゾーン	項目名・本文4点目
90		将来像のタイトル、構想図タイトル
96	5-2 地域別構想 (5) 20年後の田園都市イメージ	イメージ図内のゾーン名の記載

# 改定内容の整理

改定箇所：5-2地域別構想（2）産業集積ゾーン

## 現行計画（89頁）

## 今回の改定案：ゾーン名称変更

### (2) 国道4号沿道ゾーン

#### <地域の概要>

- ・大玉村内の国道4号は全区間4車線となり、沿道に大規模商業施設が立地し利便性の高い地域となっています。
- ・一方、沿道は農用地としての利用が多く、豊かな田園とその背後に大玉村のシンボルである安達太良山が見える美しい景観を呈しています。
- ・国道4号と東西観光交流軸（主要地方道本宮土湯温泉線）の交差点には、あだたらの里直売所と大玉村ふれあい広場、大玉村を代表する企業が立地し、大玉村らしさを表現するスポットとなっています。

#### <地域別構想>

- ・国道4号沿道ゾーンの将来像を実現するための取組方針を示します。

### (2) 産業集積ゾーン

#### <地域の概要>

- ・大玉村内の国道4号は全区間4車線となり、沿道に大規模商業施設が立地し利便性の高い地域となっています。
- ・一方、沿道は農用地としての利用が多く、豊かな田園とその背後に大玉村のシンボルである安達太良山が見える美しい景観を呈しています。
- ・国道4号と東西観光交流軸（主要地方道本宮土湯温泉線）の交差点には、あだたらの里直売所と大玉村ふれあい広場、大玉村を代表する企業が立地し、大玉村らしさを表現するスポットとなっています。

#### <地域別構想>

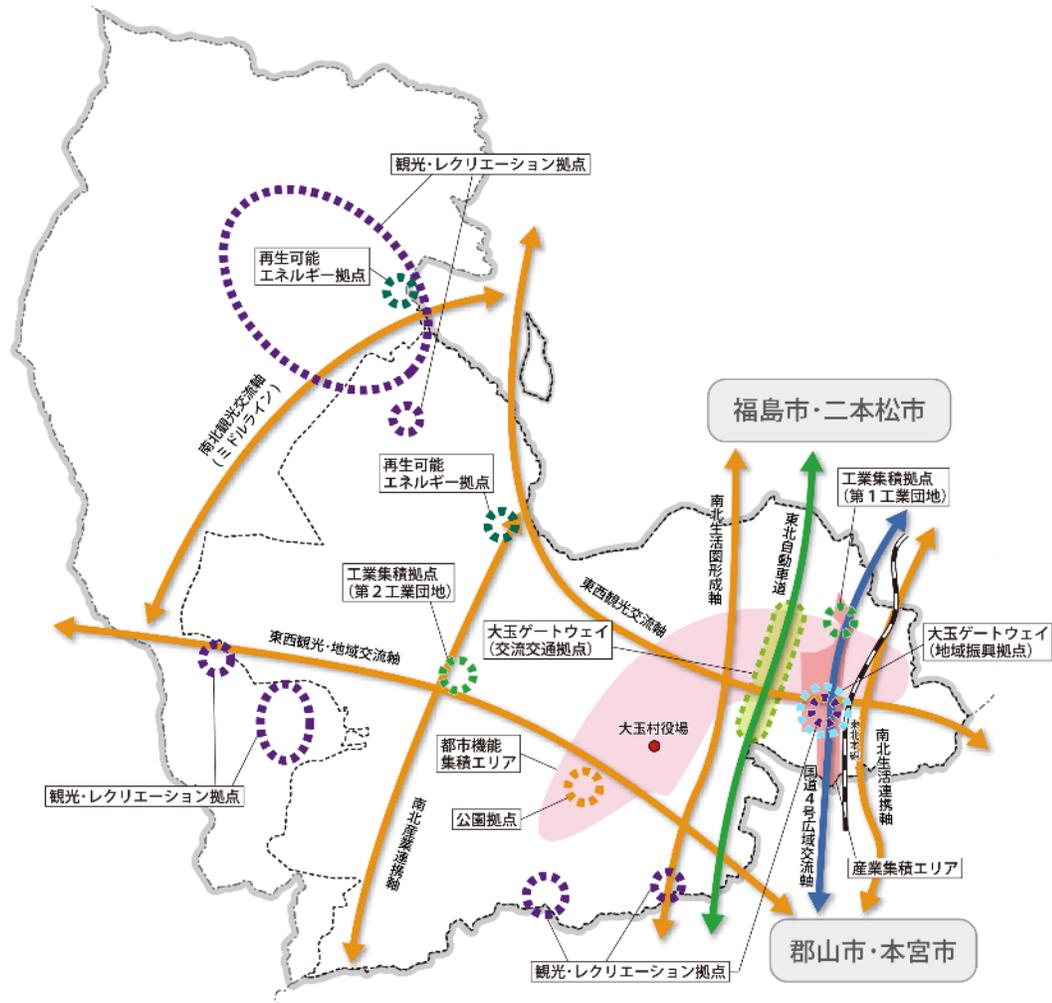
- ・産業集積ゾーンの将来像を実現するための取組方針を示します。

# 改定内容の整理

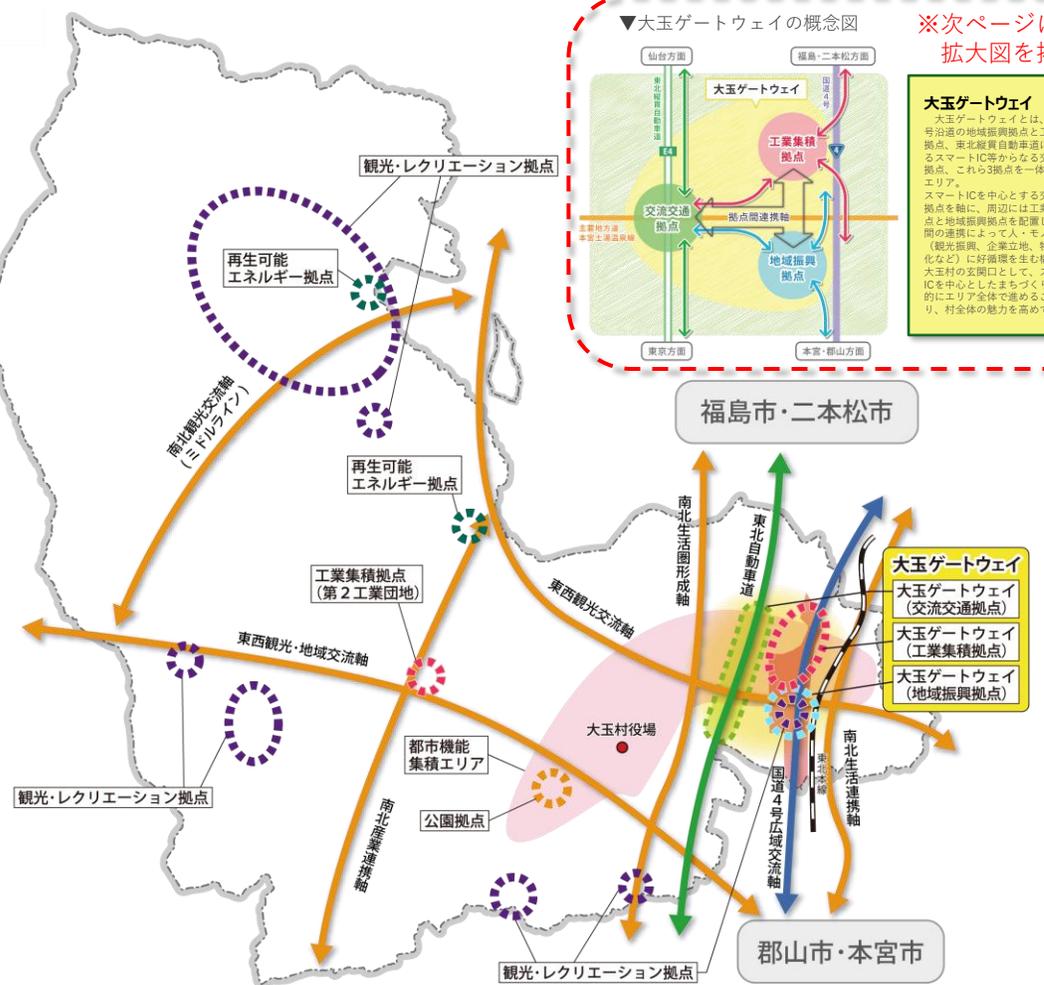
## ③ スマートICの必要性やまちづくりとの関係をより具体的に記述

改定箇所：3-3将来都市構造 (2) 将来都市構造 | 将来都市構造図 (新規追加)

現行計画 (69頁) ※下記掲載は今回改定



今回の改定案：余白に新規図面と説明を追加

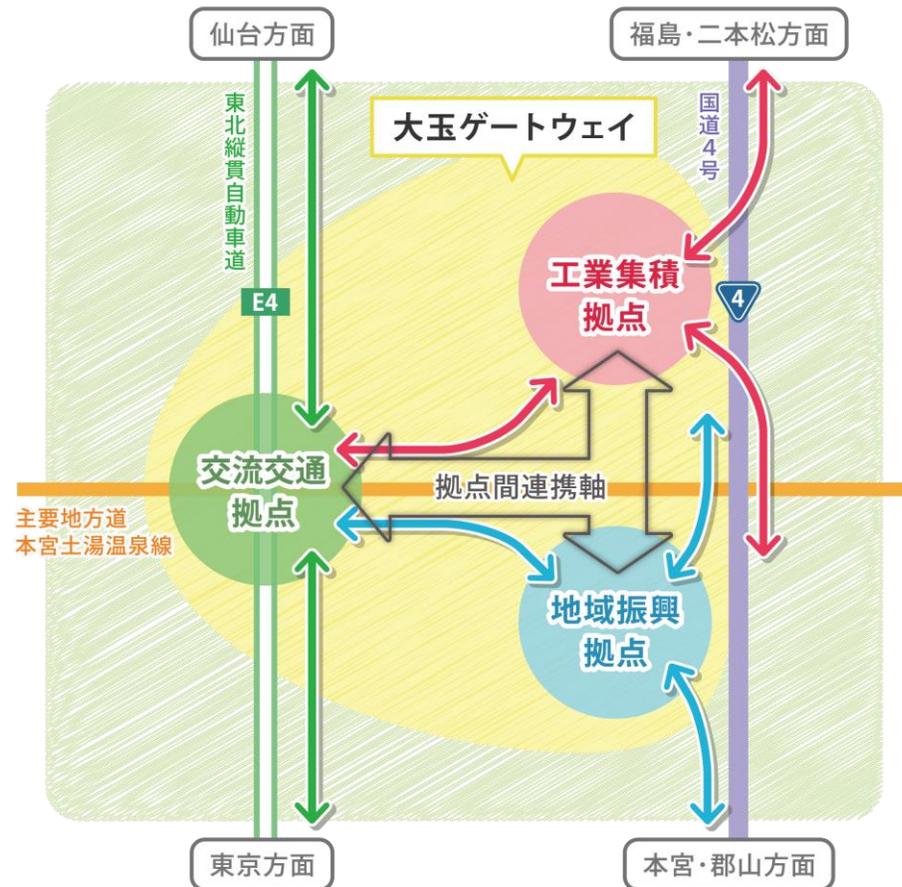


# 改定内容の整理

## ③ スマートICの必要性やまちづくりとの関係をより具体的に記述

改定箇所：3-3将来都市構造（2）将来都市構造 | 将来都市構造図（新規追加）

▼大玉ゲートウェイの概念図



### 大玉ゲートウェイ

大玉ゲートウェイとは、国道4号沿道の地域振興拠点と工業集積拠点、東北縦貫自動車道に接続するスマートIC等からなる交流交通拠点、これら3拠点を一体としたエリア。

スマートICを中心とする交流交通拠点を軸に、周辺には工業集積拠点と地域振興拠点を配置し、拠点間の連携によって人・モノの交流（観光振興、企業立地、物流効率化など）に好循環を生む構想。

大玉村の玄関口として、スマートICを中心としたまちづくりを一体的にエリア全体で進めることにより、村全体の魅力を高めていく。

# 改定内容の整理

## ③ スマートＩＣの必要性やまちづくりとの関係をより具体的に記述

改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策（1）国道4号沿道ゾーンへの企業進出の誘導

### 現行計画（99頁）

#### （1）国道4号沿道ゾーンへの企業進出の誘導

国道4号沿道ゾーンは、4万台/日を超える自動車が通過し、大玉村の玄関口として大きなポテンシャルを有しておりますが、国道周辺の土地は、農業振興地域内の優良農地であるため、企業進出が進んでいない課題があります。このゾーンは、農業振興に資する施設や、沿道サービス施設、土地収用法対象事業などの整備においては、農地転用許可を例外的に受けることができる可能性があることから、これらの事業や方策を一体的に推進することで、大玉村でのにぎわい拠点を創出します。また、オーダーメイド方式等による工業団地の造成など企業が進出しやすい環境を整え、働く場を創出します。

### 今回の改定案：文言整理

#### （1）産業集積ゾーンへの企業進出の誘導

産業集積ゾーンがある国道4号沿道は、4万台/日を超える自動車が通過し、大玉村の玄関口として大きなポテンシャルを有しておりますが、国道周辺の土地は、農業振興地域内の優良農地であるため、企業進出が進んでいない課題があります。このゾーンは、農業振興に資する施設や、沿道サービス施設、土地収用法対象事業などの整備においては、農地転用許可を例外的に受けることができる可能性があることから、これらの事業や方策を一体的に推進することで、大玉村でのにぎわい拠点を創出します。また、オーダーメイド方式等による新たな工業団地を造成し企業が進出しやすい環境を整え、働く場「大玉ゲートウェイ（工業集積拠点）」を創出します。

# 改定内容の整理

## ③ スマート IC の必要性やまちづくりとの関係をより具体的に記述

改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策（3）スマートICの整備に向けた検討

### 現行計画（99頁）

#### ■ (3) スマート IC の整備に向けた検討

大玉村にとって、住民生活の利便性の向上や産業振興、観光来訪の促進を図る上で、高速アクセス性の確保は重要な課題となっております。スマート IC の整備は、都市圏へのアクセス性が向上することで日常生活の利便性が増し、また、国道4号沿道ゾーンとの連携が新たに構築されることで企業誘致の促進が期待されます。さらには、観光資源へのアクセス所要時間の短縮や新たな周遊ルートの創出等により、村内観光施設への来訪者数の増加も期待されます。10年後、20年後の大玉村の発展と自立を考えると、大きな整備効果をもたらすスマート IC の整備に向けた検討を進めます。

### 今回の改定案：スマートIC必要性について全文修正

#### ■ (3) スマート IC の整備に向けた検討

大玉村では、人口の維持・拡大にむけた住民の利便性向上のため、県内外都市圏へのアクセス性の確保が必要となっております。また、観光資源として全国有数のキャンプ場や安達太良山の自然景観等を有し、地域振興施設の拠点形成もあわせて検討していることから、観光来訪の促進のためには、本村へのアクセス認知度の向上が必要となっております。さらには、産業集積ゾーンにおける企業誘致が進んでおらず、一方で村全体の農家人口も年々減少していることから、企業誘致の促進や都市農村交流の拡大に向けた高速道路へのアクセス性の向上が急務となっております。

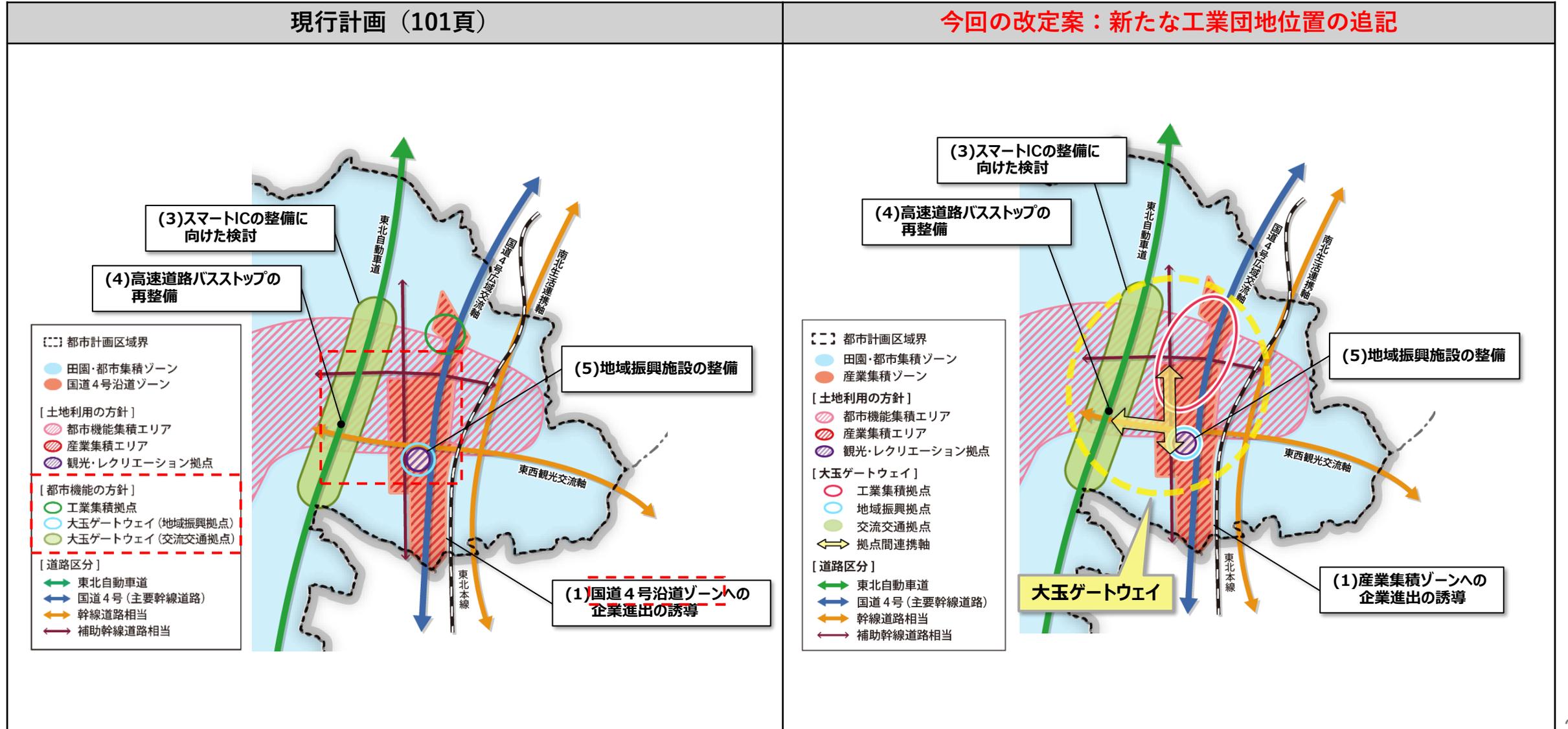
このような現況にあることから、スマート IC の整備によって、「地域連携分野」では、周辺市町村への通勤や買い物等の日常生活の利便性向上が、「観光分野」では、新たな観光拠点を含む村内観光施設への来訪者数の増加が、「産業分野」では、企業誘致の促進や物流の効率化、都市農村交流の拡大がそれぞれ期待されております。

10年、20年後の大玉村の発展と自立を考えると、大きな効果をもたらすスマート IC は最も重要な施設として、実現に向けた検討をより加速してまいります。また、今後の周辺整備については、スマート IC を中心としたまちづくりを一体的に進めることで、村全体の魅力を高めていきます。スマート IC 周辺には工業団地拠点と地域振興拠点を配置し、スマート IC と各拠点との連携によって地域経済に好循環を生む、村独自のエリア構想を計画してまいります。

# 改定内容の整理

## ④ 実現化方策のひとつとして、新たな工業団地の造成範囲を具体的に明示

改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策 | 将来像の実現に向けた方策図



# 改定内容の整理

## ④ 実現化方策のひとつとして、新たな工業団地の造成範囲を具体的に明示

改定箇所：6-1将来像実現に向けた方策 | 将来の実現に向けた整備構想図（新規追加）

